

# 障害者福祉に理解を

## 新温泉 支援施設、作業所マルシェ

### 利用者と住民らが交流

新温泉町内にある障害者支援施設や福祉作業所などが出店して住民と交流するイベント「ふくふくマルシェ」が7日、同町千谷の八田コミュニティセンターで初めて開かれた。訪れた親子連れなどが買い物を楽しんだほか、各施設のスタッフや利用者との会話を通じて障害者福祉に理解を深めていた。(中村宏)



大勢の親子連れなどでにぎわう会場＝7日、新温泉町千谷の八田コミュニティセンター

共生社会の実現につなげようと町教委が障害者週間(3～9日)に合わせて開催。4施設が出店した。就労継続支援B型事業所「こすぺーす」は唐揚げ、

同「Charm(チャーム)」は菓子パン、多機能型事務所「Kirara(キララ)」は綿菓子とポップコーンをそれぞれ販売。地域活動支援センター「のぎく」は、利用者が着物などで作ったトートバッグやコースター、キーホルダーなどを販売したほか、缶バッジを作るワークショップも行った。売り上げは各施設の活動費に充てるほか、利用者にも還元するという。

精神疾患の人に居場所提供などの支援を行っている「のぎく」の岡村敬子所長は「(イベントは)施設を知ってもらうきっかけになり、生きづらさを抱えている利用者への応援にもなる」と話していた。同センターでは、障害者や子どもたちが作品発表を通じて交流の輪を広げる「みんながつながりながらアート展」も10日まで開いている。(中村宏)